

平成28年

目黒区教育委員会

第9回定例会会議録

(平成28年3月1日開催)

第9回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成28年3月1日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会委員長	小村 恵子
	教育委員会委員長職務代理者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	木村 肇
	教育委員会教育長	尾崎 富雄

出席職員	教育次長	関根 義孝
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校運営課長	佐藤 欣哉
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	佐伯 英徳
	教職員・教育活動課長	濱下 正樹
	めぐろ学校サポートセンター長	増田 武
	統括指導主事	細田 真司
	統括指導主事	和田 孝
	生涯学習課長	金元 伸太郎
	八雲中央図書館長	大迫 忠義

書記		鈴木 敏由起
		山東 隆博

(午前 9 時開会)

- 委員長 第 9 回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は中山委員です。
- それでは、日程第 1 及び日程第 2 を議題とします。
- 日程第 1 は個人情報にかかる案件、日程第 2 は人事案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第 13 条第 1 項ただし書きの規定に基づき秘密会で審議することを発議します。
- それでは、同条第 2 項の規定に基づき、討論を行うことなしに、直ちに可否を諮ります。
- 秘密会とすることに賛成の委員の挙手をお願いします。

(全員挙手)

- 委員長 それでは日程第 1 及び日程第 2 については秘密会で審議することとします。この報告の関係者以外は退席してください。

(関係者以外退席)

(午前 9 時 1 分、秘密会入る)

(午前 9 時 12 分、秘密会終わる)

- 委員長 ここからは、会議を公開とします。退席した関係者もお入りください。

(関係者入場)

- 委員長 次に日程第 3 を議題とします。

(日程第 3 平成 27 年度学校版めぐろグリーンアクションプログラムの表彰校について (報告事項))

- 説明員 (資料により説明)

- 委員長 この件についてご質問等ございますか。
- 特にないようですので、この報告を受けました。

次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成28年度社会教育館・緑が丘文化会館・青少年プラザの年間事業計画(案)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○委員長 この件についてご質問等ございますか。

○委員 非常に項目が多岐にわたって、バラエティーに富んでいるのですが、これはどういう基準で決められたのでしょうか。

○説明員 事業計画の決め方でございますけれども、課長、館長、それから社会教育を担当している社会教育主事、講座を企画・運営している社会教育指導員による事業調整会議を行いまして、昨年度までの状況ですとか区民ニーズ、新たな現代的視点を加えてテーマを選定しているところでございます。社会教育館4館と緑が丘文化会館でそれぞれ3講座ずつ、青少年プラザについては11講座、計26講座について、さまざまな視点を踏まえて検討し、決定しているものでございます。

○委員 非常にテーマがいいので、本当に問題意識を持っている方なら参加していただけるでしょうけれど、定員が20名というのがありますが去年の実績で少ないのが何名ぐらいで、あと定員まで達したのがどのぐらいあるのでしょうか。

○説明員 まず好評だった講座についてでございます。

今年度については、「終活講座～私らしい人生のしまい方～」ということで、人権の視点から死の準備ということをどう考えていくかというような内容の講座でございました。こちらについては20名定員のところ、60名の応募があった、非常に関心が高い講座でございました。

それから、少なかったのは、残念ながら、地域サークル講座で「遠野のわらべ歌について学ぶ」というものがありましたけれども、こちらについては、20名の応募ということでぎりぎりの参加でした。

少ない講座としましては、もう一つの地域サークル講座で、「地域で夢を形にする～何かを踏み出したいけれど、一步踏み出せていない方へ～」という講座がございました。こちらについては、めだかの学校といいまして、目黒本町社会教育館で学習指導をしている、また、学習指導に加えて、いろいろな相談に乗ったりと

というようなことで、お兄さん、お姉さんのような立場で寄り添う
というような活動をしているグループが、実際に地域でどんな活
動ができるかというヒントを皆さんに、ということで企画した講
座でございました。こちらは、残念ながら20名定員のところ1
0名という状況でございまして、こちらはPRも含めて課題と捉
えております。

それから、「町に出よう！車いすマップをつくろう！」という
講座がございまして、こちらは緑が丘文化会館で開催したのです
が、こちらは障害を持つ方がどんな世界に生きていらっしゃるの
かということ、実際に車椅子に乗って気づいた点をマップに落
としてみようというような講座でございました。こちらについて
も20名定員のところ、応募15名ということで、PRを含めて、
今後、課題と捉えているところでございます。

○委員 私が想像していた以上に参加率はいいいので、安心はしているの
ですが、ただ、「終活講座」のように定員を数倍オーバーした講
座は、もう一度リピートするとか、そういう企画はないのでは
うか。

○説明員 今年度につきましては、確かに「終活講座」という、死に向き
合うという視点で、応募が多かったということを踏まえて、「グ
リーフケア～大切な人を失ったときに～」という講座を区民セン
ターで開催します。このように今年度と重なる部分が多い講座も
予定しているところでございます。

○委員 年度ごとに輪番で取り組む課題というのは、それぞれの館で年
度ごとに、例えば課題④の地域社会の形成に寄与する事業の推進
とか、中高年の地域参加の促進というのは、それぞれ、その年に
その地域の館が担うということでしょうか

○説明員 ご指摘のとおりでございまして、バランスというのを常に考え
ていかないといけませんので、この館だけに、例えば人権なら人
権とか、現代的課題なら現代的課題とかが重ならないように、5
つの社会教育館でバランスよく開催するよう配慮して事業計画を
立てているところでございます。

○委員 そうすると、地域社会の形成に寄与する事業の推進とか、中高
年の地域参加の促進というのをその地区でやって、その次の年度
に何かサークル化したりとか、継続している活動みたいなのはあ
るのでしょうか。

○説明員 サークル活動につながっている講座はいくつかございます。カ

ントリーダンス講座という、運動をメインとした講座なのですが、こういう講座などでは団体が結成されて、継続的な学習活動につなげることができました。

また、昨年１２月、クリスマスコンサートを開催したのですが、中央町社会教育館で６０年代のポップスを歌おうという講座がありまして、そこから立ち上がった団体が実際、中央町社会教育館でロビーコンサートをするような活動につながっているということもありまして、私も拝見しましたが、大変盛り上がっていました。こういう活動は、地域に学び、地域に生かすということが実践されている事例かなと思っております。

○委員 わかりました。その年度を越えても、また次の年度、その講座が開かれない地区でも継続して活動されている方とかサークルはあるということですね。

○説明員 座学で終わりにするというのではなくて、ぜひ、仲間づくりにつなげて、そして活動の成果を披露する、それは館まつりだったり、先ほどのロビーコンサートであったり、いろいろなことがあると思いますが、そういう形で、地域とつながる、広がっていくということを大事に考えております。

○委員長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に日程第５を議題とします。

（日程第５ インフルエンザによる学級閉鎖の状況について（報告事項））

○説明員 （資料により説明）

○委員長 この件について、ご質問等ございますか。

○委員 今年も大流行ではなくて小流行なのですが、Ｂ型とＡ型と両方がはやっているという現状なので、その両方があいまって、トータルとして多くなっている。しかも、Ａ型は症状が割と強くて、ご自身がインフルエンザだとわかるわけですがけれども、Ｂ型はほとんど熱が出ない。それからちょっと喉が痛い程度で頑張っておられる方が、自分でインフルエンザだということがわからずに、感染力はいつもの年のおりにあるわけですから、それで広がっているという現状がございます。

○委員長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですので、この報告を受けました。

〔 資料配布 ・平成27年度小・中学校卒業式祝辞について
・目黒区特別支援教室講演会リーフレット 〕

○委員長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前9時31分閉会)